

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

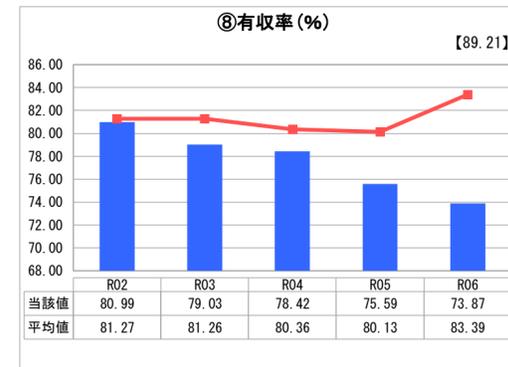
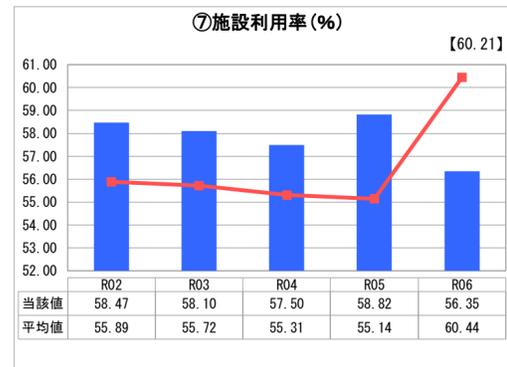
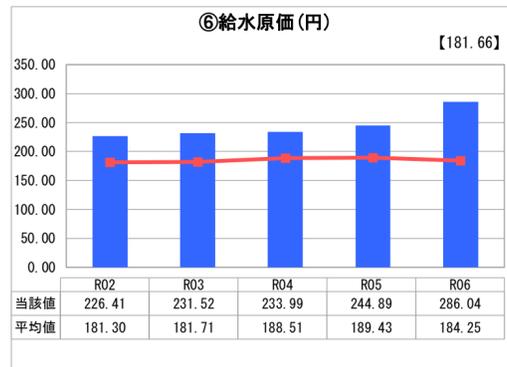
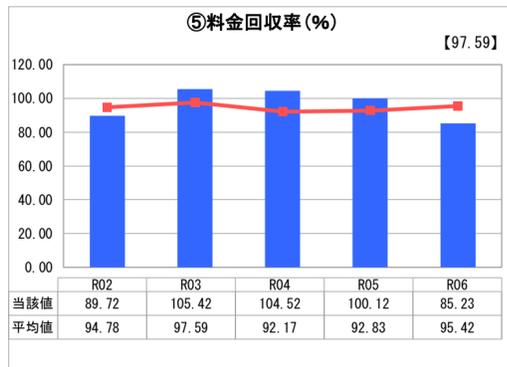
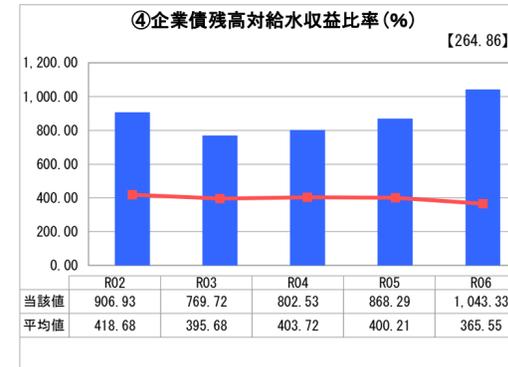
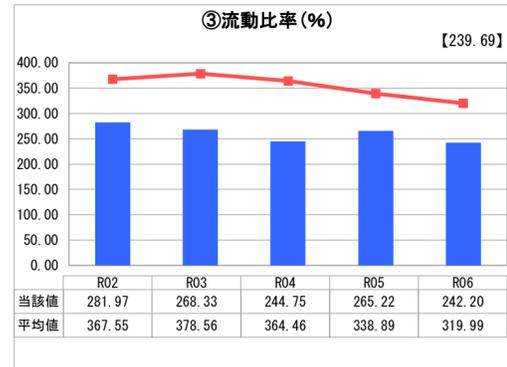
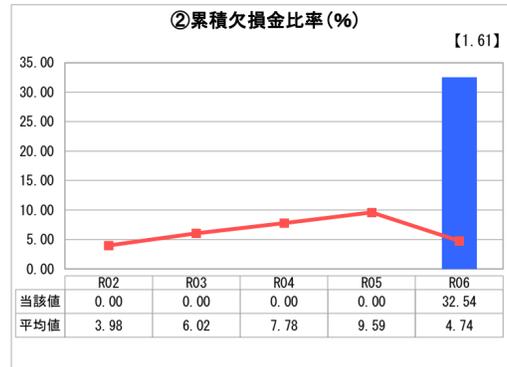
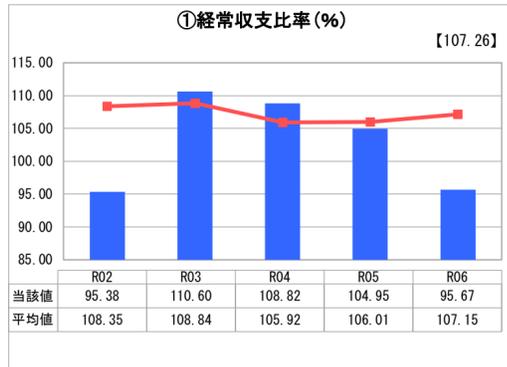
岩手県 大船渡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	49.39	97.42	4,180	

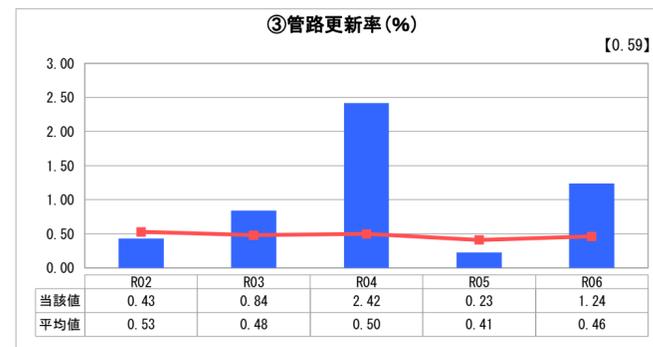
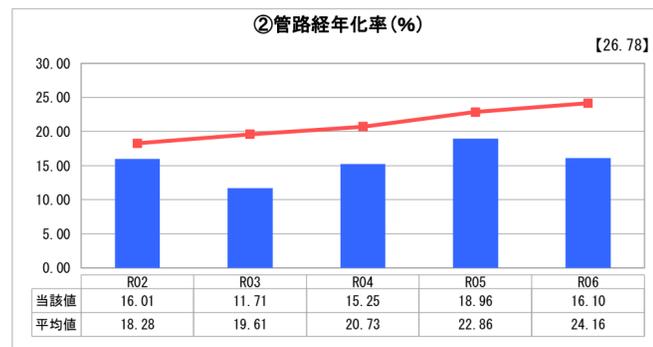
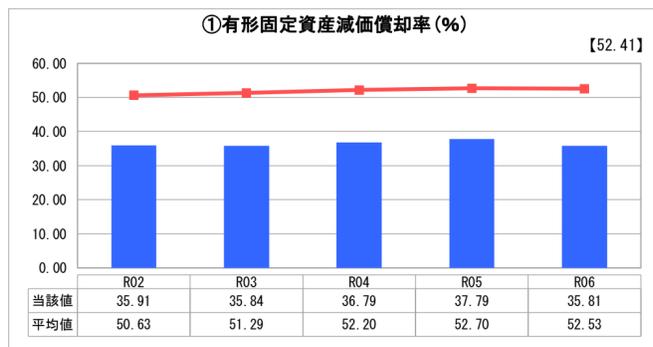
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
32,059	322.51	99.40
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
30,987	30.95	1,001.20

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率**  
簡易水道事業との統合や給水人口の減少等により、100%を下回っている状況にあります。料金改定等による収益の増加、経費の削減に努める必要があります。
- ② 累積欠損比率**  
令和6年4月の事業統合により簡易水道事業から承継した累積欠損金210,975千円に令和6年度の当年度純損失を加え、未処理欠損金は254,889千円となっています。
- ③ 流動比率**  
類似団体平均を下回っているものの、100%を超えて推移しており、短期的な債務に対する支払能力は確保されています。
- ④ 企業債残高対給水収益比率**  
類似団体平均に比べて高い水準にあります。未給水区域解消のために実施していた施設整備事業が令和7年度に完了予定であること及び令和7年度以降の事業費に対する企業債の比率を抑制することにより、今後は減少していく見込みです。
- ⑤ 料金回収率**  
簡易水道事業との統合や給水人口の減少等により、100%を下回っている状況であります。料金改定等による収益の増加、経費の削減に努める必要があります。
- ⑥ 給水原価**  
類似団体平均を大きく上回っています。人件費や物価等の上昇により今後も当該原価が高まることが見込まれます。
- ⑦ 施設利用率**  
給水人口の減少に伴う有収水量の減少により、類似団体平均を下回っており、施設規模の見直し（統廃合やダウンサイジング等）を検討していく必要があります。
- ⑧ 有収率**  
低下傾向が続いており、引き続き漏水箇所の特定及び管路修繕を実施する必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率**  
類似団体に比べて低い水準となっています。
- ② 管路経年化率**  
未給水区域解消のための施設整備事業の実施等により類似団体に比べて低い水準となっているが、今後もアセットマネジメントに基づく計画的な更新が必要となっています。
- ③ 管路更新率**  
類似団体と比較して高い水準であるが、今後更新時期を迎える老朽管も多数あることから、アセットマネジメントに基づく計画的な更新が必要があります。

## 全体総括

簡易水道事業との統合や給水人口の減少等により、収益確保と経費削減が大きな課題となっています。今後も持続的な事業運営を図るため、経営戦略に基づき、料金改定や施設の耐震化・老朽化対策事業におけるダウンサイジングなど、投資経費の削減に留意しつつ、さらなる経営基盤の強化に努めます。